

議題 1 新大阪駅周辺地域のプロモーションの取組

- (1) プロモーションの取組概要
- (2) 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法
- (3) 新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウムの開催内容

(1) プロモーションの取組概要

① 新大阪駅周辺地域プロモーション検討会での検討経過

《新大阪駅周辺地域プロモーション検討会概要》

対象地域

新大阪駅、十三駅、淡路駅周辺

目的

新大阪駅周辺地域における民間都市開発の機運醸成に向けて、関係者による意見交換を行い、プロモーションの取組を推進する。

構成員

国、地方公共団体、民間事業者、経済団体の各関係部署にて構成

国

- 内閣府 地方創生推進事務局
- 国土交通省 近畿地方整備局
- 国土交通省 近畿運輸局

地方公共団体

- 大阪府・大阪市 大阪都市計画局
- 大阪市 計画調整局
- 大阪府 都市整備部
- 大阪市 淀川区役所
- 大阪市 東淀川区役所

民間事業者

- 西日本旅客鉄道株式会社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 阪急電鉄株式会社
- 大阪市高速電気軌道株式会社

経済団体

- 関西経済連合会
- 大阪商工会議所
- 関西経済同友会

(1) プロモーションの取組概要

① 新大阪駅周辺地域プロモーション検討会での検討経過

《新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会/新大阪駅周辺地域プロモーション検討会開催経過》

第3回新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会
(R5.12.21開催)

《議題》

- 1. 新大阪駅周辺地域のまちづくり
- 2. 新大阪駅周辺地域の取組
- 3. 新大阪駅エリアの取組
- 4. 十三駅エリア・淡路駅エリアのまちづくり

➡議題2及び3にて、以下内容を確認

- ・令和6年度は、新大阪駅エリアのまちのコンセプト
及びキャッチフレーズの作成、シンポジウムの開催、
各種イベントでの発信を実施 等

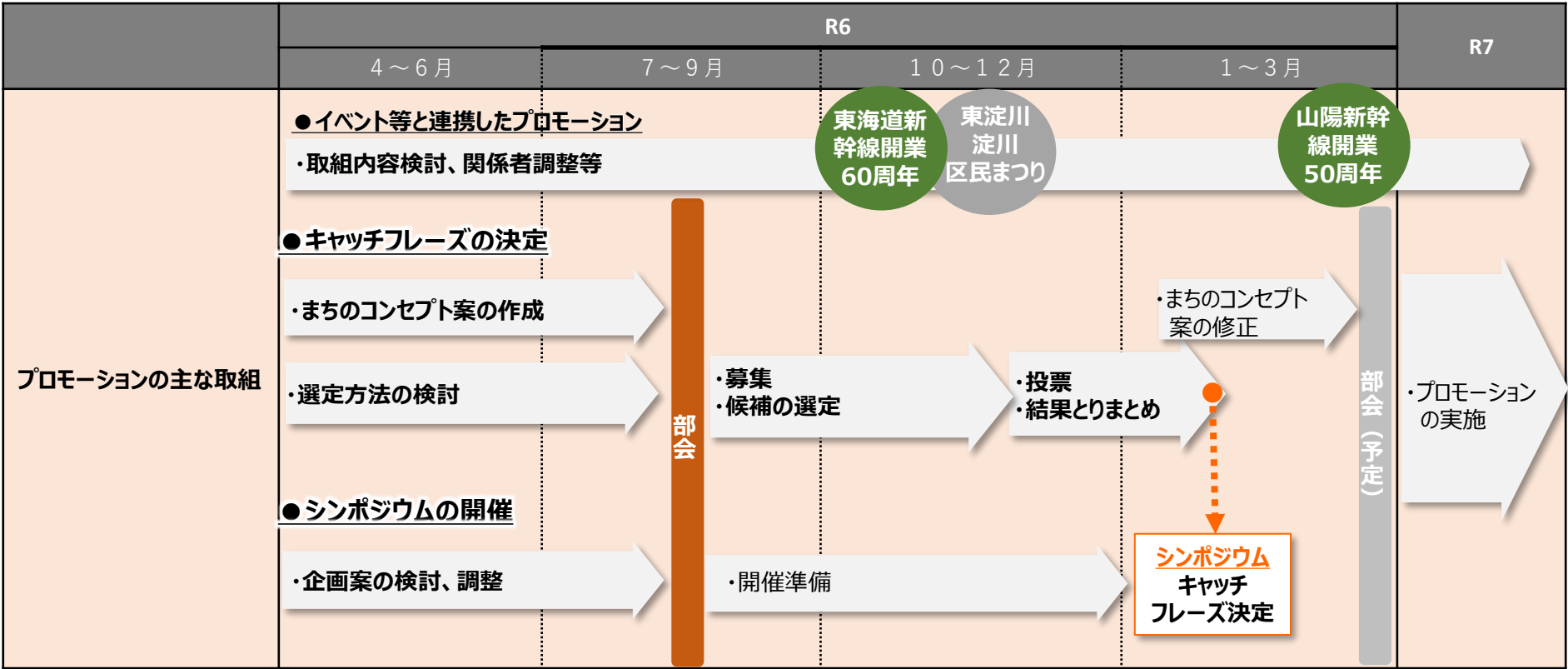
新大阪駅周辺地域プロモーション検討会

- 第4回 R6.3.21開催
 - ・第3回部会での確認内容を踏まえ、令和6年度の取組の方向性を確認
- 第5回 R6.7.4開催
 - ・以下内容を確認
 - * 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法案
 - * 新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム開催内容案

(1) プロモーションの取組概要

② 令和6年度取組の方向性・スケジュール

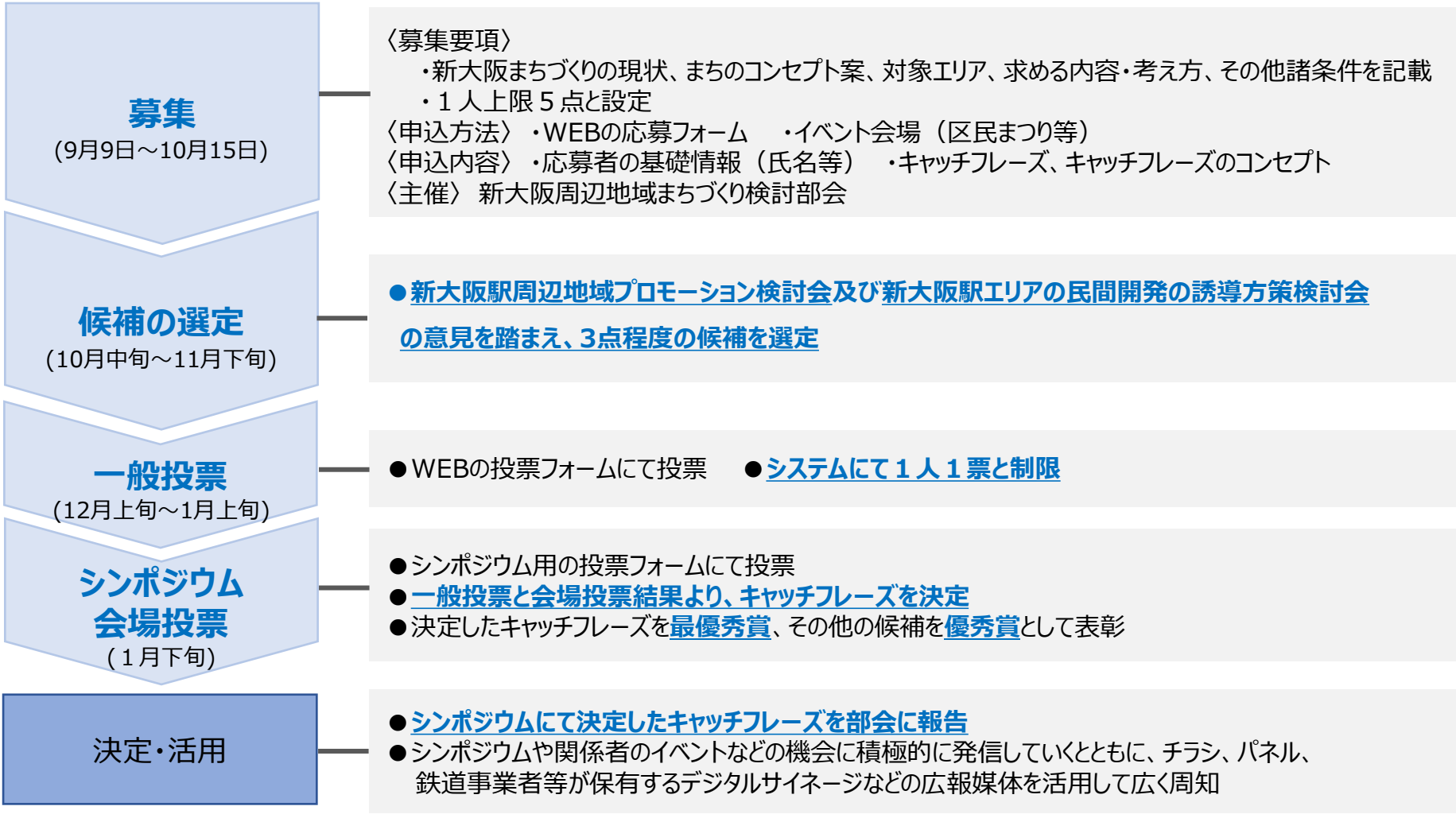
- 東海道新幹線開業60周年、山陽新幹線開業50周年を迎える機会を捉えて、民間開発の機運醸成に向けたプロモーションを実施
- 鉄道事業者や区役所等による各種イベントと連携したプロモーション活動を展開し、新大阪のまちづくり状況を発信
- 主に、周年事業と連携した“まちづくりシンポジウム”の開催や、“新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズ”、“新大阪駅エリアのまちのコンセプト”の決定を行う。



(2) 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法

① キャッチフレーズの選定フロー

キャッチフレーズ案を募集し、候補（3点程度）を選定のうえ、
一般投票および「新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム」にて会場投票を
実施し、キャッチフレーズを決定



（２）新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法

※募集要項案は資料 1 別紙

② キャッチフレーズの募集要項案（内容抜粋）

01

はじめに

新大阪駅周辺地域において、かつてないほどの広域交通の一大ハブ拠点となる機会を捉え、駅とまちが一体となった新たなまちづくりを進めています。

02

募集目的

新大阪駅周辺地域のまちづくりをけん引する、**新大阪駅エリア**では、今後一層広域交通の利便性が高まっていく強みを活かして、まちの価値を高める**民間都市開発**を呼び込めるよう、**プロモーションに取り組んでいます**。その一環として、2024年は、東海道新幹線開業60周年の節目の年でもあり、今後のまちづくりをさらに盛り上げるため、**新大阪駅エリアのまちづくりを効果的にPRするための“キャッチフレーズ”を募集**します。

— 新大阪駅エリア —

A map of the Shinjuku area in Tokyo, showing the Shinjuku Station and surrounding streets. The map is a stylized, light-colored illustration with a grid-like pattern representing the street network. A red dot marks the location of Shinjuku Station, with the label 'Shinjuku' written vertically next to it. Other labels include '東三軒' (Higashiyukawa) and '東三軒' (Higashiyukawa). The map is framed by a light blue border.

20年、30年後の新大阪駅エリアを想像し、
まちづくりが動き出すこと、
まちが生まれ変わることを、
キャッチフレーズとして表現してください。

— 新大阪駅エリア —



(2) 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法

※募集要項案は資料 1 別紙

② キャッチフレーズの募集要項案 (内容抜粋)

03
使用目的

キャッチフレーズは、新大阪駅エリアがめざす20年、30年後のまちのコンセプトとともに、新大阪駅エリアのまちづくりをPRする各種広報媒体等(HP、チラシ、ポスター等)に使用します。

イメージ

キャッチフレーズ (最優秀賞)

新大阪駅エリアのまちのコンセプト 案

国内外の人々が交流し、
新しい価値が**加速度的**に
生まれるまち

北陸新幹線等の整備により
広域交通ネットワークの形成が進められており、
また、将来的にはリニア中央新幹線が
大阪まで整備される計画となっているなど、
世界有数の交通結節点となる新大阪には
国内外から多くの人が集まる こととなります

02 駅に近接した 交流施設 や最先端の技術を備えた
質の高い機能 の集積を図ります



03 国内外から人や情報が集まり、多様な交流 や
予期せぬ出会い により、
新しい価値が加速度的に生まれるまちをめざします

駅とまちが**立体的**につながり、
人の流れが広がるまち

現在の新大阪は乗換機能を中心ですが、
国内外から集まる 人の流れをまちへ広げる
ことが重要です

02-1 車中心の駅前広場から、
人中心の空間 を備えた
多層的な広場へと再編 します

02-2 広場とまち、まちとまちを デッキ や
魅力ある低層部 でつなぎ、
歩きたくなる空間 を形成します

03 駅とまちが立体的な空間 により、
シームレスにつながり、
人の流れが広がるまち をめざします

多彩な魅力が連なり、
思い思いの時間を過ごせる
多面的 なまち

新大阪には鉄道や幹線道路で分かれた
6つのブロック があり、
広域交通ネットワーク形成を見据えた、
段階的なまちづくり が進みます

02-1 国内外からの旅行者が過ごす
バリエーションのある滞在機能 や
目的地となる施設 を誘導します

02-2 オフィスワーカー や 周辺で生活する人 など
日常的に新大阪に滞在する人が
居心地のよい空間 を形成します

03 新たな機能や空間により 6ブロックそれぞれが
多彩な魅力をもち、それらが連なる ことで、
訪れる人や滞在する人が
思い思いの時間を過ごせる多面的なまちをめざします

なお、まちのコンセプトは、今後、決定するキャッチフレーズを踏まえ、上記の案をもとに最終決定します。

(2) 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法

※募集要項案は資料 1 別紙

② キャッチフレーズの募集要項案 (内容抜粋)

04
応募資格

新大阪に思いのある方はどなたでも応募可能です。

05
募集期間

令和6年9月9日(月曜日) から 令和6年10月15日(火曜日)まで

06
応募要件

- ① 1人(1グループ)で5点までの応募が可能です。
- ② キャッチフレーズは、日本語の場合は13文字以内、英語の場合は4単語以内を目安としてください。
- ③ キャッチフレーズの制作意図(コンセプト)を200文字以内でご提出ください。

07
選定方法



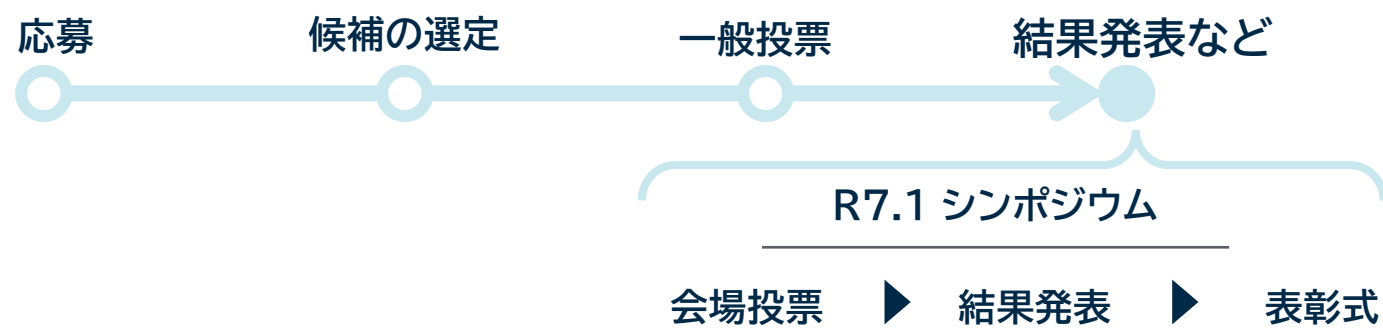
応募作品から候補(3点程度)を選定のうえ、一般投票および令和7年1月開催の「新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム」にて会場投票を実施し、最優秀作品を決定します。

(2) 新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズの選定方法

※募集要項案は資料 1 別紙

② キャッチフレーズの募集要項案 (内容抜粋)

08
結果発表
表彰



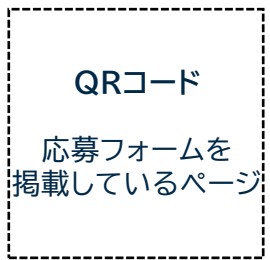
最優秀賞および優秀賞の受賞者は、
令和7年1月開催の
「新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム」にて
表彰があります。

\\ **キャッチフレーズ** //
\\ **として使用!** //

最優秀賞 1点	優秀賞 2点程度
表彰状 + 副賞	表彰状 + 副賞

09
応募方法

WEBで公開している応募フォームより応募ください。



大阪府行政オンラインシステム
<http://URL>

(3) 新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウムの開催内容

① 開催内容案

《目的》

- 新大阪駅周辺地域における民間都市開発の機運醸成を図るため、シンポジウムを開催
- 令和6年度は、東海道新幹線開業60周年、山陽新幹線開業50周年を迎える機会を捉えて、周年事業と連携した取組として実施
- キャッチフレーズの投票・決定・表彰の場とし、新大阪のまちづくりを広くプロモーション

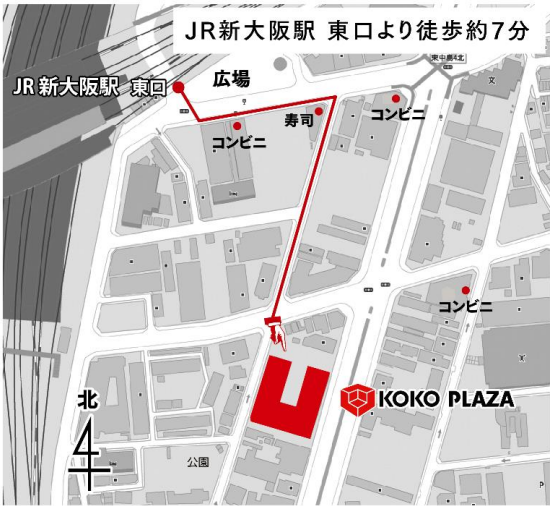
《対象》 地権者や民間都市開発事業者を主なターゲットとし、将来的にまちづくりの担い手となる
地元住民や若者などの参加者も広く募る

《主催》 新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会（新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会）

《日時》 令和7年1月下旬 15時～17時半（予定）

《会場》 大阪市立青少年センター

《定員》 約200名



（出典：大阪市立青少年センターHP）

(3) 新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウムの開催内容

① 開催内容案

《内容》

・第1部 パネルディスカッション

登壇者：大阪公立大学 吉田准教授、JR東海、JR西日本、大阪都市計画局長

- テーマ：①新大阪まちづくりの状況（仮）
②新幹線開業から現在までの振り返り（仮）
③新大阪のまちに期待すること、公共空間の展望（仮）

・第2部 キャッチフレーズの決定・表彰

登壇者：大阪都市計画局長、キャッチフレーズ候補の作成者（3名予定）

- プログラム：①キャッチフレーズ候補の紹介
②投票、集計

学生・地権者による取組発表

- 大学生による新大阪駅周辺地域を題材としたプレゼンテーション
- 新大阪駅南口エリアまちづくり協議会による取組状況の発表

- ③結果発表、表彰（キャッチフレーズ候補の作成者登壇）

・その他 会場ホワイエでの展示

- ①大学生作成の新大阪駅周辺地域を題材とした模型やプレゼンテーションシート
②キャッチフレーズの応募作品 など